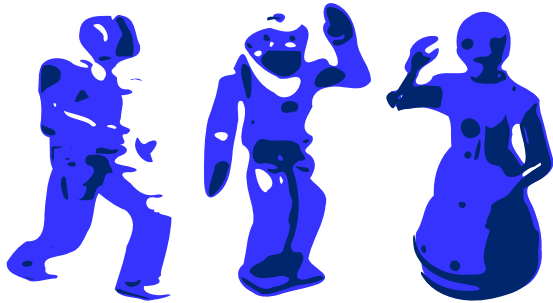


身体イメージを利用した装着型擬人化ディスプレイロボットの開発

開発者:大澤 博隆

既存のヒューマノイドロボット

- ・重い
- ・場所をとる
- ・高い
- ・電源が確保できない
- ・コストの割にできることが少ない
- ...



そこで
ディスプレイロボット

というアプローチ

ディスプレイロボットでは、
腕・目などの
取り付け可能な擬人化パーツを
物体にとりつけ
物体そのものをロボット化してしまう

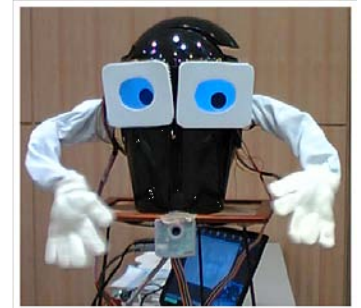
こんな風に



擬人化されたエクササイズバイク



擬人化された電子レンジ

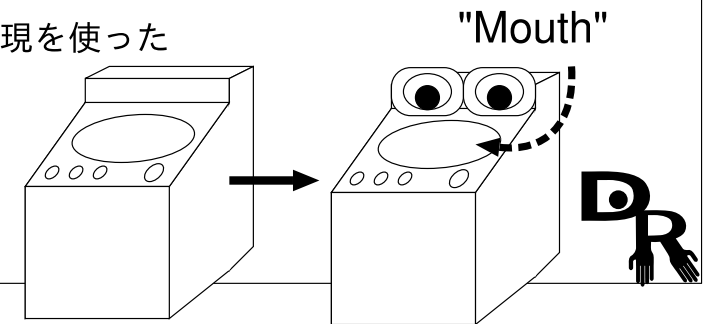


擬人化されたごみ箱

軽い・安価・場所を取らない
コミュニケーション可能な
新しい情報提示デバイス

さらに、物体を擬人することで
物体の一部を身体の一部として使える

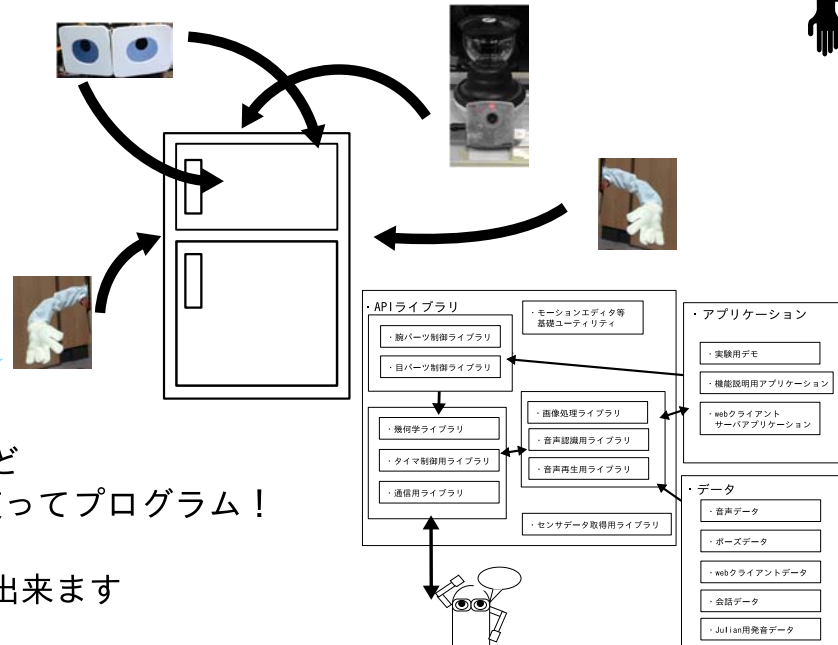
「目」や「口」「お腹」など、直感的な表現を使った
機器からの情報提示が可能に



ディスプレイロボット使用法

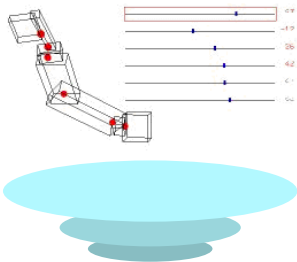
まずは物に取り付けて

擬人化用のパーツを
好きなものに取り付けてから
目と腕が揃っております



APIを選んで作成

擬画像処理・音声認識・
ハードウェアとの通信など
面倒なところは、APIを使ってプログラム！
付属ユーティリティで
モーションを作ったりも出来ます



お店で勝手にご説明

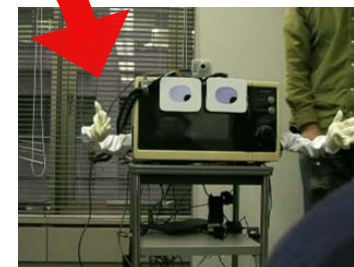
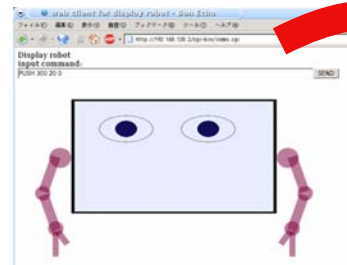
サンプルプログラムを参考に
機能説明用のアプリケーションが
簡単に作れます
「お客様、いらっしゃいませ！」



ブラウザから簡単操作

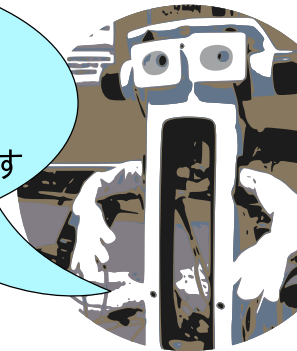
任意の物体に取り付けて
webブラウザから操作！

- ・好きなポーズを作って再生
- ・押したり、引いたり、まわしたり
身体を使った表現も自動変換！

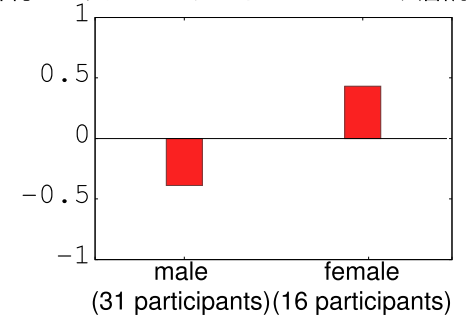


調査結果

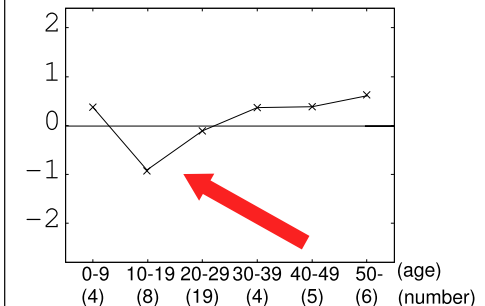
どんな人が
使いたいの？
という疑問にも答えます



※来場者約50人のアンケートによるユーザー層調査実施



女性に人気があります
・直感的に受け入れてもらえる
デバイス



子供、20代以上の年代に人気アリ
・10代・20代前半では恥ずかしい？